

短期大学部(船橋校舎)ルーブリック

		初年領域: Basic		中上級領域: Intermediate and Advanced	
日本大学教育憲章		1	2	3	4
自ら学ぶ	A-1: 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	DP1: 幅広い知識と豊かな教養に基づいて、技術者としての倫理観・責任感を高めることができる。	経験や学修から得られた知識と教養に基づいて、技術者としての倫理的な課題や責任を理解し説明することができる。	経験や学修から得られた幅広い知識と豊かな教養に基づいて、技術者としての倫理的な課題や責任に向き合うことができる。	経験や学修から得られた幅広い知識と豊かな教養に基づいて、自己の倫理観や責任感を技術者としての倫理的な課題に適用することができる。
	A-2: 世界の現状を理解し、説明する力	DP2: 国内外の情勢を把握し理解を深め、そこに存在する多様な文化や背景を理解し、国際社会が直面する問題を説明することができる。	国内外の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状を概説することができる。	国内外の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を、自己の世界観をもって説明することができる。	国内外の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を理解し、国際社会が直面する問題を説明することができる。
自ら考える	A-3: 論理的・批判的思考力	DP3: 多様な情報や知識を収集し、科学技術リテラシーを用いて多角的・論理的に分析・整理することにより、論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	収集した情報や知識を、論理的・批判的に考察することの重要性を説明することができる。	収集した多様な情報や知識について、仮説に基づく課題や問題を提示し、論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	収集した多様な情報や知識について、仮説に基づく課題や問題を提示し、多角的・論理的に分析・整理することにより論理的・批判的な思考をするとともに、課題に対する見解を示すことができる。
	A-4: 問題発見・解決力	DP4: 事象を注意深く観察し収集した情報や知識を基に能動的に課題を発見し、工学に関する専門知識を活用して解決策を提案することができる。	事象を注意深く観察して、解決すべき問題を認識することができる。	事象を注意深く観察して、認識した問題の意味を理解し、助言を受けて複数の解決策を提示し説明することができる。	事象を注意深く観察して、収集した情報や知識から能動的に課題を発見し、工学に関する専門知識を活用して、問題を解決することができる。
自主創造	A-5: 挑戦力	DP5: 自ら目標を設定し、その達成のために自ら考え、計画し行動するとともに、あきらめない気持ちを持って新しいことに果敢に挑戦することができる。	新しいことに挑戦する気持ちを持つことができる。	自ら目標を設定し、その達成のために新しい挑戦への計画を立て、準備することができる。	自ら設定した目標の達成のために、責任と役割を担って自ら考え、計画し行動するとともに、あきらめない気持ちを持って新しいことに果敢に挑戦することができる。
	A-6: コミュニケーション力	DP6: 他者の考えや思いを聴いて理解するとともに、自らの思考・判断のプロセスを説明し自分の考えを伝えることができる。	親しい人々とのコミュニケーションを通じて相互に意思を伝達することができる。	他者の考えや思いを聴いて理解するとともに、自らの思考、判断のプロセスを説明し、相互に意思を伝達することができる。	他者の考えや思いを聴いて理解するとともに、自らの思考、判断のプロセスを説明し、相互の意思伝達を自由かつ確実にを行い、他者との良好な関係を確立することができる。
	A-7: リーダーシップ・協働力	DP7: 互いに異なる意見を持つ集団のなかで、互いに連携しながらリーダーシップを発揮して協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	集団のなかで、よりよい成果を上げるために、お互いを尊重することができる。	集団のなかで、よりよい成果を上げるために、指導者のもとで他者と協働し、作業を行うことができる。	互いに異なる意見を持つ集団のなかで、よりよい成果を上げるために、互いに連携しながらリーダーシップを発揮して協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
	A-8: 省察力	DP8: 謙虚に他者の声に耳を傾けるとともに自己を見つめ、自律的・継続的な振り返りを通じて自己を高めることができる。	自己の学修経験の振り返りを継続的に行うことができる。	自己の学修に関する経験と考えを自律的・継続的に振り返り、分析できる。	謙虚に他者の声に耳を傾けつつ学修状況を自己分析し、自律的・継続的な振り返りを通じて自己を高めることができる。